

1	議席番号 2 番 大石 巖 議員	開始予定時刻 6月11日 午前9時
<p>【介護保険制度の改定に伴う対応について】</p> <p>本年4月から、要支援1・2の方が受けていた訪問介護や通所介護などが介護給付から外され、地域支援事業に移行するなど介護保険制度が大きく変わった。</p> <p>介護サービスの充実のために、今後の方針を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域支援事業への移行は、平成29年度までにすべての市町村が実施することとなっているが、移行へのスケジュールを問う。 2 地域支援事業移行により、利用者の負担増やサービスの低下を招かないか。 3 特別養護老人ホームや通所施設などの拡充計画はあるか。 4 65歳以上の介護保険料が引き上げられた。 低所得者への減免対策は。 <p>【中学校教科書採択について】</p> <p>今年は、4年ごとに行われる中学校教科書採択の年である。</p> <p>私は歴史や公民の教科書で、日本の戦争責任を矮小化する内容が記述された教科書の採択を増やそうとする動きがあると考えている。</p> <p>以下について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中学校教科書採択のシステムとスケジュールを問う。 2 教科書採択の過程では、公正な選択を原則とし、現場の先生方の声が反映されるしくみとなっているか。 自治体首長等からの恣意的な干渉・介入はないか。 3 「新しい歴史教科書をつくる会」が編集した出版社の教科書についての認識は。 4 戦後70年という重要な年に、学校教育の中で戦争と平和をどう伝えていくのか教育長の見解を問う。 		

2	議席番号 9 番 増田 剛士 議員	開始予定時刻 6月11日 午前10時
<p>【空き家に関する町の施策について】</p> <p>総務省が5年ごとに実施している住宅・土地統計調査によれば、昭和43年時点で住宅数が世帯数を超え、以降一貫して空き家が増加し続けており、平成25年10月1日現在、全国の空き家数は820万戸、空き家率は13.5%に達している。</p> <p>昨年度、総務文教常任委員会にて「空き家・空き地の環境保全について」と題し調査を行い、空き地に関しては周辺住民からの苦情があれば適切に対応していることが判明した。</p> <p>空き家に関しては所有者の個人情報として調査が出来なかった。</p> <p>全国的に空き家対策が必要となっている中、「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成26年11月に制定され平成27年5月26日に全面施行された。</p> <p>この特別措置法に伴う町の施策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特別措置法制定により固定資産情報の内部利用ができ、空き家の所在、所有者の調査が可能となるが、町の対応は。 2 特別措置法に空家等対策計画があげられているが、町の対応は。 3 持ち家以外の賃貸住宅（アパート等）は、新築に入居者が集まり古い物件は空室が目立つ、これらの古い物件が将来的に空き家となる可能性が高い。 都市計画の観点から新規の賃貸住宅（アパート等）に対する町の考えは。 4 特定空家等への対処に関し、条例の制定が必要と考えるが町の方針は。 		

3	議席番号 10 番 藤田 和寿 議員	開始予定時刻 6 月 11 日 午前 11 時
<p>【津波避難訓練結果を受けた町の対応について】</p> <p>「津波防災まちづくり事業」の第 1 ステップの「町民の皆さまの命を守る対策」である津波避難タワーが完成し、これまでに 15 基の津波避難タワーを使用した津波避難訓練が 2 回行われています。</p> <p>町の指導のもと、各自主防災会が計画した内容で実施され、訓練結果や課題そして要望などを受けていると思います。</p> <p>そこで、町に報告された内容と今後の町の対応について質問します。</p> <p>1 町が想定した津波避難シミュレーションと津波避難訓練結果を比較し、どのような分析結果であったのか。また、その結果からの対策はありますか。</p> <p>(1) 避難時間について</p> <p>(2) 避難場所について</p> <p>2 津波避難訓練において各自主防災会から報告された課題や要望の内容について、町が実施する対策はどのような内容ですか。</p> <p>(1) 避難路について</p> <p>(2) 避難場所（避難タワー・避難ビル）について</p> <p>(3) 避難待機時について</p> <p>3 過去 2 回の津波避難訓練結果や町民からの要望などを受けて、「町民の皆さまの命を守る対策」を新たに追加する検討を行っていますか。</p>		

【町の治水計画について】

町の第4次総合計画には、治山治水対策の5年後として、「災害から住民を守るため治水計画を策定し、河川および、都市下水路の整備を行うことにより、浸水被害が減少しています」と掲げられている。

先頃の天気予報では、豪雨警報が頻繁に発令され、町内ではその都度、庭に置いてある車が水につからないか、床下床上浸水はどうかと心配される声を多く聞く。

特に住吉川は海拔2.9mの地域であり傾斜がなく大水でも流れはほとんどない状態である。

そこで、特に住吉地域の河川の冠水を防ぐ方策と町の治水計画について以下質問する。

- 1 わが町の治水計画の進捗状況はどうか。
- 2 住吉川の排水対策と現在の状況はどうか。
- 3 稲荷川の排水機場対策の効果はどうか。

【総合体育館の有効活用について】

わが町には、立派な体育館があり、近くには、県下一とも言われているマンモス校吉田中学校がある。

吉田中学校の野球部は、静岡県の大会で優勝した。

それは、先生と生徒との信頼関係と練習の成果だと思う。

町民にとって誇らしい出来事であるが、私は部活動の全体レベルをあげたいと考えている。

それには、部活動の練習を総合体育館でも行ったらどうかと考える。

例えば、吉田中学校の体育館1階では、卓球部の男子および女子、柔剣道部、なぎなた部等、2階ではバスケットボール部男子および女子、バレーボール部男子および女子が練習しているが、部員が多いと練習時間も限られてきていると思われる。

しかし、バレーボールでもコートが充分使用できる状態であれば、1年生からボールが触れる。

また、卓球部でも台数が多くあれば、全員でボールを打てると思う。

また、練習が出来るようになれば、部活動にも進んでいくようになり、楽しい学校生活を送れるのではないかと。

私は、将来わが町を背負って行く中学生の部活動が、もっと活発になって行くことを希望する。

そこで、以下質問する

- 1 中学校の各運動部での人数を把握しているか。また、実際部活動の練習はどのように行われているか。
- 2 活動スペースが狭い中で、十分に部活動が出来ているか。
- 3 部活動の環境を整えて、指導の充実をより図る考えはあるか。

5	議席番号 11 番 八木 栄 議員	開始予定時刻 6月11日 午後2時
<p>【道路埋設物の管理について】</p> <p>道路は、人々の生活するところには必ず存在するものであります。</p> <p>当町においても、幹線道路、生活道路等の整備が進められ、暮らしの中でも大変便利になっております。</p> <p>また、道路は単に交通のためだけの利用に留まっていることはなく、道路の地下には、電気、ガス、水道、下水道、光ケーブル等、生活に密着した施設が埋設されております。</p> <p>また、道路工事や道路に面する建築工事、それに地下埋設物の工事等により、道路を掘削しているところは、日常よく目にするものです。</p> <p>こうした工事を施工する際、時として事故が発生する事もあるかと思えます。</p> <p>事故発生時には、そこに住む住民の方々に大変な迷惑がかかることは当然です。</p> <p>したがって、そうしたことのないように、これらの埋設物を管理されていることと思えます。</p> <p>道路（町道）の管理は吉田町が行なっていますが、道路地下埋設物についてはどのようになっているのか、以下質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町の管理する地下埋設物には、どのようなものがあるか。 2 光ケーブル（陸閘の開閉・監視カメラ）の管理はどのように行っているのか。 3 過日の光ケーブル配管を破損させた事故状況についてお伺いします。 		

6	議席番号 3 番 遠藤 孝子 議員	開始予定時刻 6月11日 午後3時
<p>【吉田町ラーニングプランについて】</p> <p>将来の吉田町を担う児童・生徒の育みに、人的・物的・社会的教育環境の整備は必須であります。</p> <p>吉田町では、平成25年度の全国学力・学習状況調査結果を受け、吉田町ラーニングプラン（学力向上のための計画）を作成しました。</p> <p>計画年度は平成29年度までとなっています。</p> <p>今回は、主に学校での取り組みの進捗状況とその成果等についてお聴きします。</p> <p>1 確かな学力向上のため学校での取り組みについて、</p> <p style="padding-left: 2em;">①授業力向上、</p> <p style="padding-left: 2em;">②個への対応の充実、</p> <p style="padding-left: 2em;">③家庭学習の支援</p> <p>を実践しています。</p> <p>その具体的実践、成果、課題についてお伺いします。</p> <p>2 平成26年4月の学力・学習状況調査では、小学校は全国平均を0.6から1.5%上回っております。</p> <p>中学校では、0.6から2.0%下回っております。</p> <p>特に中学校での結果分析と対策、静岡大学の先生方と中学校現場での先生方との協働についてお聴きします。</p> <p>3 「確かな学力」の育成と二本柱である「自ら学び自ら考える力」とのバランスを、どのように取り組んでいるかお聴きします。</p>		